

さん がく いん
三学院
(北町 3-2-4) **MAP ⑨**



六地藏石仏

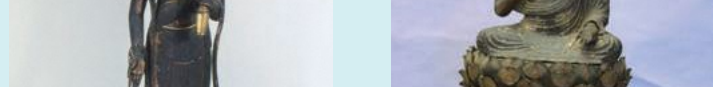
市指定 15
寛文・元禄年間(1661～1704)

地獄・餓鬼などの六つの世界において、衆生を救う姿をあらわした6体の地藏尊。

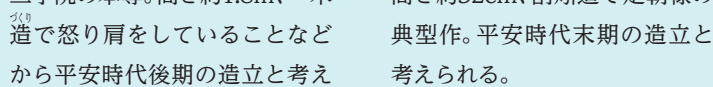
木造十一面観音菩薩立像

市指定 26

三学院の本尊。高さ約1.8m、一木造で怒り眉をしていることなどから平安時代後期の造立と考えられる。
※一般公開はしていません

木造阿弥如来坐像

市指定 36

高さ約52cm、彫刻造で定朝様の典型作。平安時代末期の造立と考えられる。
※一般公開はしていません

梵字馬頭観音塔

市指定 17
寛政 12 年(1800)

蔵宿の馬持講中が、馬の供養のために造立したもの。基礎には馬の姿が彫刻されている。

宝篋印塔

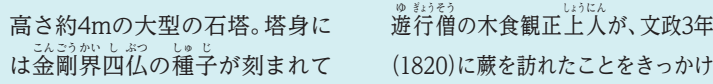
市指定 16
寛政 9 年(1797)

宝篋印塔は仏塔の一種。基礎には唐獅子が浮彫にされている。

宝篋印塔

市指定 21
宝永 2 年(1705)

高さ約4mの大型の石塔。塔身には金剛界四仏の様子が刻まれている。

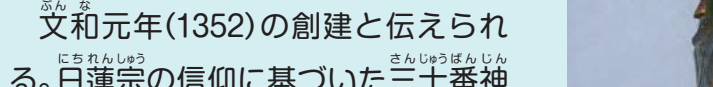
木食観正塔

市指定 31
文政 4 年(1821)

遊行僧の木食観正上人が、文政3年(1820)に蔵を訪れたことをきっかけとして造立されたと考えられる。

地藏石仏

市指定 20
万治元年(1658)

通称「自疾地藏」と呼ばれ、地藏尊の目に味噌を塗ると眼病が治るといわれている。

子育地藏

市指定 1
元禄 7 年(1694)

高さ約2.4m、市内最大級の地藏尊。子育て・火伏・開運を願う人々の信仰を集めている。

かす が じん じゃ
春日神社
(錦町 5-13-4) **MAP ⑫**



文和元年(1352)の創建と伝えられる。日蓮宗の信仰に基づいた三十番神を祀っている。

木造三十番神立像

市指定 33
(熱田大明神)

三十番神は、一か月(30日)を交替して法華経を守護する神々。影像の例は珍しく、江戸時代の作と考えられる。
※一般公開はしていません

と やま
堂山
(錦町 6-5-12) **MAP ⑬**



明治4年(1871)に廃寺となった薬光寺の墓地。地藏堂が残されており、東光寺の本尊であった不動明王像が祀られている。

庚申塔

市指定 9
寛文 10 年(1670)

東光寺住職らが逆縁(生前に死後の冥福を祈る仏事)のために造立したもの。薬師如来像が浮彫にされた珍しい庚申塔。

庚申塔

寛政 4 年(1744)

女性中心の講により造立された庚申塔で、台石には100名の女性の名前が刻まれている。

わ ら び じん じゃ
和楽備神社
(中央 4-20-19) **MAP ③**

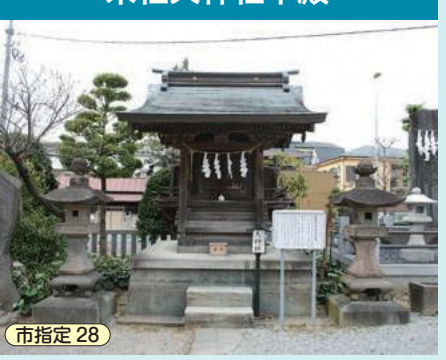


明治44年(1911)に、隣にあった18の鎮守社を合併してできた神社。万葉仮名の表記を用いて「和楽備神社」と名付けられた。合併以前は八幡社が鎮座し、中世に蔵を所領とした淡川氏が蔵城の守護神として勧請したと伝えられる。

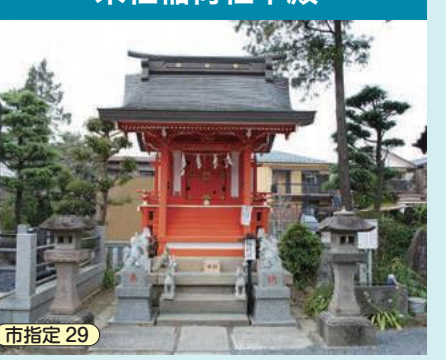
水盤

市指定 11

上野の寛永寺にあったと伝えられる水盤。江戸時代初期の作と考えられる。

末社天神社本殿

市指定 28

一間社流造、長押の形などから江戸時代前期の建築物と考えられる。

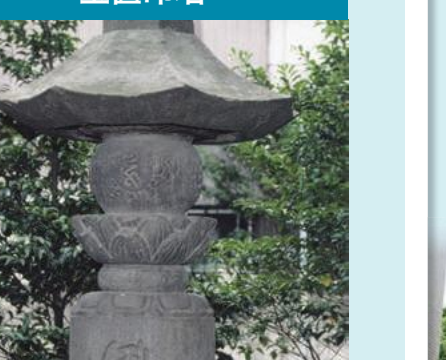
末社稲荷社本殿

市指定 29

同社の前身である八幡社の本殿を稲荷社としたもの。一間社流造で、針木の絵棟などから江戸時代中期の建築物と考えられる。

木造八幡騎馬像

市指定 18

和楽備神社のご神体。寄木造。彩色された束帯・騎馬姿の八幡像で、江戸時代中期の作と考えられる。※一般公開はしていません

宝篋印塔

市指定 13
享和元年(1801)

明治4年(1871)に廃寺となった成就院にあったもの。基礎には麒麟や飛天が彫刻されている。



田中 毅 「平和祈念碑 (平和を愛して)」 5
春日神社 12
春日公園 11
北五公園 11
ふれあい公園 11
北町4 北町公園 11
北町1 11
わらび公園 11
錦町5 11
錦町6 11
堂山 13
第二中 中
西公民館 11
錦町3 11
錦町2 11
テニスコート 11
富士見公園 11
錦町児童館 11
庚申塔 14
入江 勇 「成年式発祥の地記念像」 3
歴史民俗資料館 ① 11
蔵本陣跡 ② 11
⑥ 歴史民俗資料館分館 11
北町公民館 11
市民体育館 11
北町児童館 11
一本杉塚 10
城址公園 11
蔵城跡 ④ 11
中央公民館 蔵市民会館 11
蔵駅開設記念碑 2
⑦ 長谷 秀雄 「若き日」 1
西口化粧室 11
中央3 旭町公民館 11
中央1 11
中央2 11
中央4 11
中央5 5 長泉院 11
福祉・児童センター 11
中の宮公園 11
中央小 小 11
中央6 11
中央7 11
下蔵公民館 11
ふるさと 11
土橋公園 11
中央東小 小 11
南町1 11
あけぼの公園 11
南町2 11
三和公園 11
大荒田交通公園 11
第一中 中 11
南町3 11
市立図書館 11
⑥ 蔵内 佐斗司 「走る童子」 11
河鍋晩斎記念美術館 ⑮ 11
みずほ公園 11
若葉公園 11
南公民館 11
交流プラザさくら 11
南町児童館 11

学校 南町桜並木遊歩道 トイレ
児童館・公民館 中山道本町通り MAP番号
児童館・公民館 西口駅前通り 彫刻
..... 町界

蔵市の指定文化財

指定	名称	所在地	見学の可否
県	蔵城跡	中央4-21-29 (蔵城址公園)	○
市1	子育地藏	北町3-2-4 (三学院)	○
市2	淡川公墓	中央2-10-14 (宝樹院)	○
市3	一本杉塚	北町1-20-4	○
市4	長泉院梵鐘	中央5-13-3 (長泉院)	本堂壁にあるため、境内からのみ可
市5	蔵本陣跡	中央5-17-14	○
市6	双子織綱帳	個人	○歴史民俗資料館で一部展示
市7	高橋新五郎遺跡	塚越3-2-19	○
市8	庚申塔 (寛政4年銘)	個人	×歴史民俗資料館で複製を展示
市9	庚申塔 (寛文10年銘)	錦町5-5-12 (堂山)	○
市10	阿弥陀一尊画像板碑	北町3-2-4 (三学院)	○
市11	和楽備神社水篋	中央4-20-19 (和楽備神社)	○
市12	和楽備神社木造僧形八幡立像	中央4-20-19 (和楽備神社)	×
市13	和楽備神社宝篋印塔	中央4-20-19 (和楽備神社)	○
市15	三学院六地藏石仏	北町3-2-4 (三学院)	○
市16	三学院寛政9年銘宝篋印塔	北町3-2-4 (三学院)	○
市17	三学院梵字馬頭観音塔	北町3-2-4 (三学院)	○
市18	和楽備神社木造八幡騎馬像	中央4-20-19 (和楽備神社)	×
市19	塚越稲荷社狼田彦大神碑	塚越3-2-19 (塚越稲荷社)	○
市20	三学院万治元年銘地藏石仏	北町3-2-4 (三学院)	○
市21	三学院宝永2年銘宝篋印塔	北町3-2-4 (三学院)	○
市22	本法院元禄2年銘板法華曼荼羅	錦町5-13-11 (本法院)	×
市23	本法院銅造器	錦町5-13-11 (本法院)	×
市24	塚越神社木造天神座像	塚越3-2-19 (塚越稲荷社)	×
市25	塚越稲荷社末社天満宮本殿	塚越3-2-19 (塚越稲荷社)	×
市26	木造十一面観音菩薩立像	北町3-2-4 (三学院)	×
市27	徳川将軍家朱印状	北町3-2-4 (三学院)	×歴史民俗資料館で複製を展示
市28	和楽備神社末社天神社本殿	中央4-20-19 (和楽備神社)	○
市29	和楽備神社末社稲荷社本殿	中央4-20-19 (和楽備神社)	○
市30	塚越稲荷社本殿	塚越3-2-19 (塚越稲荷社)	×
市31	三学院木食観正塔	北町3-2-4 (三学院)	○
市32	三学院のフジ	北町3-2-4 (三学院)	花の季節のみ限定公開
市33	春日神社木造三十番神立像	錦町5-13-4 (春日神社)	×
市34	機神社給馬 付 幣帛	塚越3-2-19 (塚越稲荷社)	×
市35	機織図絵馬	中央5-17-22 (歴史民俗資料館)	×
市36	木造阿弥如来坐像	北町3-2-4 (三学院)	×
市37	蔵宿岡田本陣家資料群	中央5-17-22 (歴史民俗資料館)	○歴史民俗資料館で一部展示
市38	政入道善休日記・家談善休物語	個人	○
市39	定正寺木造観音菩薩立像	塚越3-2-19 (塚越稲荷社)	×
市40	機神社参拝絵馬	塚越3-2-19 (塚越稲荷社)	○歴史民俗資料館で展示
市41	石川中喜庵及び幕陣建設寄附連名碑 中山保治徳徳	北町3-2-4 (三学院)	○
市42	所持田畑小作入附 万蔵帳	個人	○歴史民俗資料館で展示
市43	紙本著色釈迦涅槃図	北町3-2-4 (三学院)	×
市44	紙本著色地獄変相図	北町3-2-4 (三学院)	×
市45	宋版大般若波羅蜜多經	北町3-2-4 (三学院)	×
市46	元禄10年銘銅板向い狐絵馬	錦町3-2-8 (神喜院光徳支度会)	×

*見学の可否につきましては、令和5年11月1日現在の情報となっております。

MUSEUM
蔵市立歴史民俗資料館
MAP ①
蔵宿と蔵の綿織物業に関する情報を中心に紹介。
住所 中央 5-17-22 TEL 048-432-2477
時間 9:00～16:30
休 月曜日・祝日(4/29・11/3を除く)・年末年始
料金 無料 撮影 可

蔵市立歴史民俗資料館分館
MAP ⑥
明治時代に織物の買継商をしていた建物を公開。
住所 中央 5-19-3 TEL 048-432-2477 (歴史民俗資料館)
時間 10:00～16:00
休 月曜日・祝日(4/29・11/3を除く)・年末年始
料金 無料 撮影 可

河鍋晩斎記念美術館
MAP ⑮
江戸時代末期から明治時代前期に活躍した絵師、河鍋晩斎の下絵や画稿類が保存されている。
住所 南町 4-36-4 TEL 048-441-9780
時間 10:00～16:00
休 火・木曜日・毎月26日～末日・年末年始
料金 一般600円 65歳以上500円 高・大学生500円 小・中学生300円 未就学児 無料
撮影 不可
※詳細は美術館へ直接お問い合わせください。

なか せん どう
中山道と中仙道

漢斎英泉画「木曾街道蔵之駅戸田川渡場」

江戸と京都を結ぶこの街道は、江戸時代の正式な表記は「中山道」とされた。しかし実際には「中仙道」と記されることも多く、厳密に統一されることはなかった。現在、博物館などでは「中山道」の表記を使用している。

わらび しゅく おとす じん ぶつ
蔵宿を訪れた人物

中山道上町風景 (現 北町3丁目)

文久元年(1861)、皇女和宮が蔵宿本陣で小休し、本陣当主の加兵衛は蜜柑35、葡萄5連を献上している。他にも13代将軍徳川家定の正室である鷹司任子(有喜)や一条秀子(寿明君)、老中水野忠邦などの大名も蔵宿本陣に宿泊し、寛政3年(1791)には俳人の小林一茶も蔵宿を訪れている。